NPO高麗 活動実績概要

NPO高麗は世界中の人々との人間的理解に基づいた交流から新しい平和な社会づくりを行うとの視点から全世界で各国政府機関と共同で「平和」のエネルギーを発信するIDAKISHINのソロコンサートおよび高麗恵子との共演による「高句麗伝説」コンサート活動を行っています。又、被災地等への支援活動として、エチオピア干ばつの地ゴデ住民5万人の給水事業、アジスアベバ孤児院への設備整備、貧困解決のモデル事業としてアンドロメダエチオピアコーヒービジネスの展開、各地被災地緊急支援、戦争復興のレバノンへの支援を行っています。

旱魃の地ゴデ（エチオピア）にて

■2000年エチオピア大使館の依頼で、地球温暖化が主な原因とされる旱魃に苦しむ南部ゴデを訪問。当時の駐日エチオピア大使が現地に日本から同行し、「問題の根本解決は社会を作っている人間の内面が変わること」との共通認識で当NPOのアーティストいだきしんのコンサートを開催することを決定。同時にエチオピア支援がはじまり現地の要請でゴデ病院にレントゲンを寄付。

■2001年11月エチオピア アディスアベバ メスケル広場にてエチオピア政府との共同主催にて人類発祥の地エチオピアから全世界へ平和を発信する大規模コンサート、いだきしん「天命」コンサートを開催。（聴衆１１万人。全世界衛星放送、インターネット配信実施。）

■2001年より高麗恵子、いだきしん共演による「高句麗伝説」コンサートを日本各地、世界各国にて開催（2019年6月現在までに233回開催）。

■高麗恵子講演会「本音で生きて下さい」、および詩の朗読による「詩と語り」イベントを日本全国各地にて多数開催（2019年6月現在 754回開催）。

エチオピア「天命」コンサート

■2002年2月イラン建国記念FAJR音楽祭「文明間の対話」に招待され、いだきしんコンサートを2日間開催。

■2002年よりエチオピアよりコーヒー生豆を直輸入開始。「アンドロメダ・エチオピアコーヒー」というブランド名にて、製品化、販売を行いその収益金でエチオピア南部での浄水事業（後述）などの支援プロジェクトを継続的に行っています。

■2002年3月エチオピアに送る消防自動車11台の船積通関諸費用を寄付。

■2002年12月エチオピア飢餓の緊急事態発生時にあたり、エチオピアDPPC（災害予防準備委員会）に寄付実施。

■2003年7月熊野本宮大社大斎原にていだきしん「開闢の光景」コンサートを開催。

■2003年8月、天命コンサートの成功実績を受け、タンザニア政府の依頼にてダルエスサラームムナジモジャ広場にて各国首相の集ったSADC（南部アフリカ開発共同体）サミット公式イベントとして、いだきしん「平和の灯火」コンサートを開催。

■2003年12月イラン ケルマン州バム地区で起こった大地震に際し、緊急支援物資をイラン大使館経由にて被災地に送る。

■2004年2月いだきしんイラン大地震支援チャリティーピアノコンサートを第一生命ホールにて開催。入場料収入全額をイラン大使館に寄付。

ペルセポリスコンサート

■2004年7月青森県三内丸山遺跡にていだきしん「縄文」コンサート開催。

■2004年10月イラン ペルセポリス遺跡（ユネスコ世界遺産）にて革命後はじめての催しとなった「文明間の対話」コンサートを開催。コンサートが禁止されている聖地ペルセポリスにての開催にあたり、「いだきしん氏の音楽は通常のコンサートではなく平和を発信する文化そのものである」との特別な配慮により開催実現となり、開催許可がおりたこと自体がイランでは革命的なできごとであると多方面から言われました。

■2005年3月レバノン Imam Sadr Foundationにいだきしんサウンドシステムを寄付。

■2005年8月レバノンティールのヒポドローム遺跡にてティール市共催にてはじめての海外開催となった「高句麗伝説」コンサートを実施。参加者のほとんどが号泣するほどの衝撃的なコンサートとして開催翌日地元新聞紙にはトップ記事として紹介され、また多くの新聞で報じられ、高麗恵子はティール市永久名誉市民の称号を授かる。このコンサート以降、特に中東諸国からの「高句麗伝説」開催要請を多く受け、高麗恵子は中東各国メディアでも大きく報じられるようになる。

■2006年8月 イスラエル軍の爆撃に遭ったレバノンへの支援とし、日本にてチャリティーコンサートを7回開催。この戦争により中止となったヨルダン、ジェラシュフェスティバルにての「高句麗伝説」開催予定日であった8月11日に日本の狛江エコルマホールにて平和を発信するレバノン支援「高句麗伝説」コンサートを開催。

■爆撃のあとの復興支援として、若い世代に未来への希望をとのレバノン、ティール市長の要請で、ビジネス・カレッジを設立する為のコンピュータ設備一式及び新設図書館の書籍購入代金をティール市に寄付。

■2006年9月ブルガリアベリコ・タルノボツァレベッツ城にてタルノボ市共催「高句麗伝説」コンサート開催。

■タルノボ病院の新設オペレーション階のためにいだきしんがスペシャルCDを制作。翌年病院用のいだきしんサウンドシステムを寄贈。また高麗恵子はちりめんに独自のドローイング、オブジェを配したアート作品群を制作寄贈。

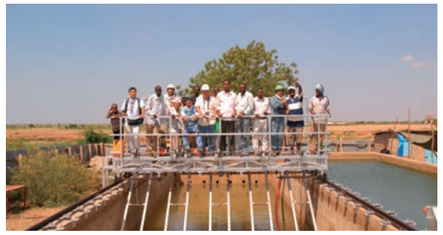
■2006年11月ペルセポリスコンサートの成功を受け、イランテヘラン、サーダバ宮殿にていだきしん「Peace Message」コンサートを2日間開催。

■エチオピア、アディスアベバKetchene孤児院への支援活動としてバイオエネルギー設備費の寄付およびクリニックの整備を行う。

■2007年5月シリア ダマスカス オペラ劇場、6月ブルガリア ベリコ・タルノボ ツァレベッツ城、ルーマニアギュルギュウ市庁舎前広場、マケドニア・オフリド古代劇場及びビトラ中央広場にて各地の市共催により「高句麗伝説」コンサート開催。マケドニア・オフリド、セント・ソフィア教会及びビトラ・ナショナルセンターにていだきしんコンサート開催。

■2007年8月ヨルダン、ジェラシュフェスティバルにて「高句麗伝説」コンサート開催。

■2007年9月北京、紫禁城内にある中山音楽堂コンサートホールにて日中友好35周年記念の催しとして「高句麗伝説」コンサート開催。プログラムの一部では中国のグループHAYAとも共演。



ゴデにて給水装置とともに

■2007年8月にエチオピアソマリ州水道局より技術研修のために4名を日本へ招聘。浄水プロジェクトのパートナーである静岡の大学産業株式会社にて研修を行った上で、11月にはエチオピア南部ゴデに5年間かけてソマリ州との共同事業として調査、設計の上で独自に開発した浄水給水装置の設置工事を完了した（日本より技術者6名を12日間派遣）。これによって住民5万人に安全な飲料水を供給することが可能となった。

■2008年10月アルメニア・エレバン共和国広場にて「高句麗伝説」コンサート開催。

■2008年11月/12月レバノンにて高麗恵子出演 いだきしん演奏「詩のコンサート」を4回開催。同月ベイルート・ユネスコパレスにて「高麗恵子心模様作品展」を開催。

■2009年7月15日レバノンティールのヒポドローム遺跡にて、2度目の「高句麗伝説」コンサート開催。同月26日ロシアモスクワのグリーンシアターにて、「高句麗伝説」コンサート開催。

■2010年5月28日イラン・テヘラン・ヴァフダットホールにていだきしんコンサート、29日「高句麗伝説」コンサート開催。10月9日グルジア・メテヒ教会にて、16日アゼルバイジャン・グリーンシアターにて「高句麗伝説」コンサート開催。

■2011年3月より、東日本大震災後、復興支援活動の一環として、被災地へ高麗恵子作心模様マーブリングTシャツの寄付、アンドロメダエチオピアコーヒーの炊出しを岩手県、宮城県の各地にて実施。9月7日復興支援の拠点として、盛岡市にNPO高麗 東北センターを開設。

■2011年7月6日、岩手県山田町 御蔵山イベントテントにて、8月3日釜石市 鈴子広場にて「東日本大震災犠牲者追悼、復興支援 いだきしんチャリティーコンサート」を開催。

■2012年11月25日、インド・デリーにて、「いだきしんコンサート-Himalaya-」を開催。12月2日、デリー、プラーナ・キラーにて、「高句麗伝説」コンサートを開催。

■2013年10月24日、インド・グジャラにて、いだきしんコンサートを開催。10月27日、グジャラ・アフーマダーバード、サーバルマティーリバーフロントにて、「高句麗伝説」コンサートを開催。

■2014年11月東日本大震災直後より、東北復興の為に事業を始められた宮城県亘理郡山元町の山元いちご農園に、いだきしんサウンドシステムを寄贈。

■2015年4月山元いちご農園の全ハウスに、いだきしんサウンドシステムを全額寄付にて設置。

■2015年10月山元いちご農園の一角に、NPO高麗コーヒービジネスの拠点として、NPO高麗コーヒー焙煎工場を設立。

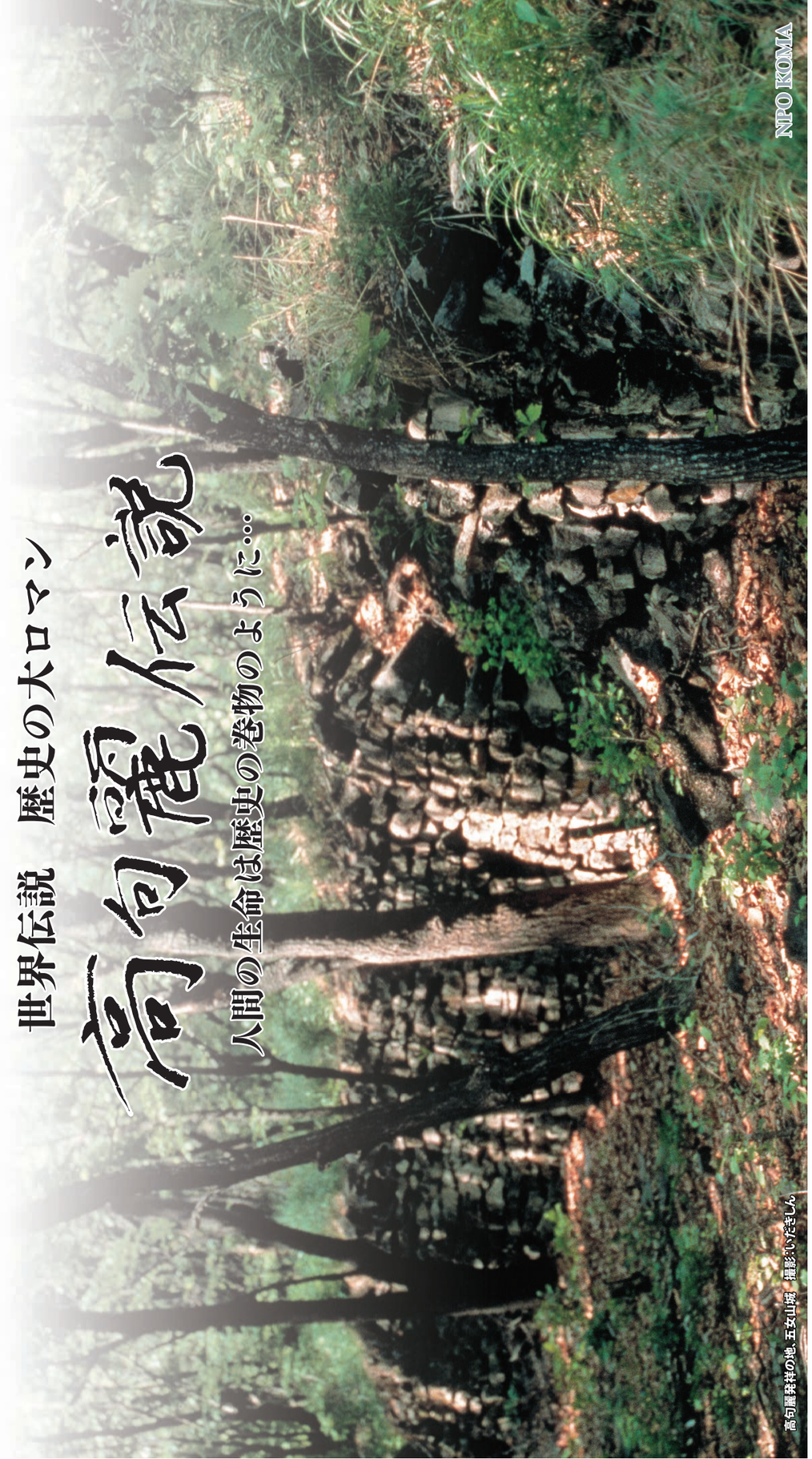
■2015年11月1日 大津市にてNPO高麗迎賓館を設立。迎賓館は、ピアノの音が最も響くよう設計をし、いだきしん専用に製作されたFAZIOLIのピアノを設置。

■2016年7月8日 東北復興の拠点として、仙台市青葉区シリウス一番町ビル１Fにカフェ「高麗屋」オープン。

■2018年3月11日震災により町の9割が壊滅した宮城県山元町にて、山元いちご農園バームクーヘン工場＆NPO高麗焙煎工場カフェ「結工房」をオープン。

■2018年3月12日山元町、山下駅前「つばめの杜ひだまりホール」にて、いだきしん 結（ゆい） コンサート開催。

お問合せ：NPO 高麗　TEL. 03-3505-8841　E-mail. info@npokoma.org　東京都港区六本木 3-4-16 IDAKI ビル 3F



2019年8月15日（木）／8月16日（金）

狛江エコルマホール

住所：東京都狛江市元和泉1-2-1　交通：小田急線狛江駅北口徒歩1分

PM 6:00開場　PM 6:30開演　PM 8:00終演予定

出演：高麗恵子（詩の朗読）・いだきしん（即興演奏、映像）

主催：特定非営利活動法人　高麗

全席自由 7,000円（各日共）

高句麗伝説

生まれて初めて先祖高句麗の地を訪ねたのは 1998 年 5 月です。今年で 22 年目を迎えます。1998 年の元旦、自宅で一人で窓を開け放ち、本を読んでいると、一枚の写真が胸の内に飛び込み、時間が止まりました。胸が動き、ドキッという音まで聞こえます。時を忘れ、魅せられた写真には、深い森の中に石垣が重ねられる風景が写っていました。魂の要が動く衝撃に、「ここは何処」と写真に写る森は何処なのかを本の中で探しました。ここは高句麗発祥の地、五女山城と知りました。先祖の源の地と知り、更に衝撃が全身を貫きました。「私はここに行く」と生まれた本音を実行し、5 月に、高句麗の地へと旅立ちました。北京から夜行列車に乗り 18 時間、車窓から見える風景は懐かしい故郷の風景です。広大な大地、真っ直ぐ天に向かいそそり立つ木、大陸を流れる大河…。生まれて初めて訪ねる地であっても私の心の内では幼い頃から知っていた故郷の風景です。私はここを故郷とし生きてきたことを知りました。魂の生まれ出た地を求め、生きてきたのです。電車を降り、降り立った地は、高句麗古都、集安です。将軍塚に立ち、偉大なる父、王の魂と出会い、悲しみが胸の奥深くに刻まれていることに涙しました。父の背中に見た悲しみと同じ悲しみを感じました。「悲しみを繰り返す人間の生き方に終止符を打てずに後世に受け継がせていくことが何より悲しい」と魂の声を聞き、詩に表しました。

好太王碑にて

高句麗発祥の地五女山のある桓仁県

私は、幼い頃より父から「高句麗王直系子孫であることを忘れてはならない」と毎日言って聞かされ、育ちました。父の生命から感じた高句麗魂は私の生命の内にも受け継がれていることを感じ、父の意志を受け止め、これだけは外してはならないことと心に刻み生きてきました。が、歴史の重荷を背負う人生は苦しみと悲しみに満ち、24 歳で余命 2 ヶ月と言われる状態となってしまいました。生まれた時から人の運命が素通しで見え、目に見えない世界も霊界も、そのまま見えます。木々や花、動物の生命の声も聞こえる感受性がありました。周りの人からは理解されず、聞こえる生命の声を詩に表すことで生きてきました。生命途絶えそうになった時、いだきしん先生に出会い、受け継がれた高句麗の歴史が運命となっていることが紐解かれ、解放され 、生命助かったのです。生命の声であります本音を表す人生がはじまり、3 歳の頃より求め続けてきたことの答えが全て得られ、真の人生が拓かれました。今でも胸の内にある 3 歳の頃の光景が人生の出発点です。夕暮れ時、母と野原で遊んでいる時にふと見上げた大空に、人間の生を考えたのです。この空は昔からずっとあるのに、昔この空を見ていた人は何処へいってしまったのか、と感じ、人間が生まれてくることの意味、生まれた限り、どう生きていけば良いのか、死んだら何処へいくのか、死が人生の終わりでもなく、人との別れでもない永遠の世界で生きていきたいと心の底から欲したのです。隣にいた母に「人間は一番はじめは誰から生まれてきたの」と尋ねたのでした。人間のはじまりがわかれば人間とはどう生きていくのかがわかると幼いながらに感じたのです。同時に幸せに生きることを考えた時、世界が平和でないと幸せには生きていけないことに行き着き、3 歳の頃より、一人一人の健康と幸せ、世界の平和を祈る人生がはじまりました。答えを求めても求めても得られずに余命 2 ヶ月と言われる状態までなってしまいましたが、いだきしん先生に出会い、生まれつきの運命を解放され、真の自分を見出し、本音で生きることで 3 歳の頃より求め続けてきたことの答えが生きることで得られる人生と変わりました。今の時代は生まれつきの運命のままに生き、生を終えることなく、運命解放され、真の人生を実現できることを世界中の方々にお伝えしたく、考え続けてきたのです。偶然の巡りにより高句麗の地への旅により、生きることの原点を取り戻しました。高句麗の地から聞こえる魂の声を詩に表す時、魂が蘇ることを経験します。真の声は生きる力となり、未来を創造します。

高句麗発祥の地、五女山城へ行った時の衝撃は、人生を変えました。悲しみが全身を貫き、涙は嗚咽となり号泣となり、流れ続けました。真と出会い、自分の内の真が現れ、まがいものは排除されていくのです。身が裂かれる程の衝撃が全身を貫き、愛に出会いました。先を創ることが愛と生命全てで教えられます。真の人生のはじまりです。

6 月、高句麗最後の都があった北朝鮮に行く事が叶いました。檀君神話が生まれた聖地、白頭山の天池にて、あまりの美しさに身も心も洗われました。美は国創りの原点と体得しました。美は愛からによってより生まれません。愛が生きる要であり、創造の源であります。これからの生き方を示され、体得できた高句麗の地への旅により人生は決まりました。3 歳の頃より願う世界の平和実現に向け、人生賭けはたらいていく真の人生が拓かれました。

はじまりは悲しみから生まれることを経験する人生でもあります。やっと自分の足で歩けるようになったら、父母が続いて亡くなりました。目に見える世界には存在しない父母に会えない悲しみにどん底に落ち沈んでいる時、いだきしん先生から高句麗の地を訪ねるところで留まっているので悲しいのでは、とおっしゃって頂き、「もうひとつのシルクロードを辿れば…。」というメッセージを頂きました。瞬間、悲しみに沈んでいた私の顔が上がったのです。先を創らなければ生きていけない限界にあり、先を創る為に、高句麗の源を辿り、フェニキアの地レバノンを訪ねたのです。フェニキア 9000 年前の都市、ティールにて亡き父の魂に出会い、「美は永遠」とわかりました。美しい魂は永遠に生きることを教えられ、内面の中心に永遠なる魂宿りました。人間は内面の環境が取り巻く環境を創ります。永遠なる魂宿る内面は世界各地に導かれる巡りを生み、永遠なる魂との出会いが生まれます。

レバノン、ティールにて

飢餓の支援活動により訪ねたエチオピアは偶然にも人類最古の人骨が発掘された人類発祥の地でありました。私は発掘現場まで行き着き、「生命の源はひとつ、愛」を経験し、この経験を世界中の方々と分かち合いたく、「高句麗伝説」コンサートを開催させて戴くようになりました。肌の色も違い、あらわす言語も宗教も違いますが、人間、生命のはたらきはひとつです。源に戻れば皆ひとつである生命であり愛であることを世界中の人と経験できれば、平和な世界が創られると見出し、3 歳の頃より願い祈り続けてきました「一人一人の健康と幸せ、世界の平和実現」を目指し、日本はじめ世界各地にて開催し続けています。

人類発祥の地、エチオピア ハダールにて

2005 年、亡き父の魂に出会ったレバノン、ティールにて開催した時、聴衆全員が総立ちとなり、ブラボーと歓声があがり、号泣していました。何が起こったかを誰もが瞬時に理解できずとも、魂と魂が出会い、覚醒したことを魂は経験し、一瞬にし人生を見、未来を見たと聞いています。翌日の新聞のトップ記事に掲載され、「真の感動が争いが絶えない地を平和へと導く」との見出しで紹介されました。私は永久名誉市民の称号を与えられました。世界各地にて開催する度に魂の覚醒が起こり、人生に目覚める経験となっています。誰に教えられる訳ではなく、真の音に出会い、真の自分に出会う経験となっているのでしょう。私が高句麗発祥の地、五女山城に行った時に、真と出会い、真の人生が始まった経験が「高句麗伝説」では起こるのだと見えるのです。

言葉によっては表し尽くせぬエネルギー、魂の声、大地の声、おおいなる存在からのメッセージを、いだきしん先生は、シンセサイザー、太鼓、弦楽器、管楽器等々を用い、即興演奏して下さいます。私は演奏から見える光景を即興詩に表します。スクリーンに映し出される映像も即興により現れます。全て即興にて行います。即興演奏を経験することは人間とし生きることを学び、身につけていける経験の場であると感謝します。即興ということがわかれば生きる意味も自ずと見出していけます。目から入る情報と、耳から入る情報、そして即興的に生まれる詩の言葉がありますので、感性と理性がひとつとなり、知性が養われるかけがえのない経験の場となると考えます。

2005 年 レバノン、ティール「高句麗伝説」コンサート開催
翌日のトップ記事に掲載

今の時代は今までの生き方では生きていけない時代です。新しい時代の新しい生き方を身につけていけるように「高句麗伝説」コンサートを開催しています。時代を先駆け生きるアントレプレナー精神を表し、そのエネルギーにあふれる「高句麗伝説」コンサートをご経験頂けければありがたいです。

狛江は高麗の地と言われています。先祖縁の地にて「高句麗伝説」を開催させて戴けますことに心より感謝申し上げます。8 月 15 日は終戦記念日とされた日であります。この日は忘れてはならない日であります。日本人の魂取り戻していくことが今、日本にとって何より必要と感じ、8 月 15 日、16 日連日「高句麗伝説」を開催させて戴きます。心よりご参加頂けましたらありがたく存じます。

NPO 高麗
代表　高麗恵子

ご参加お申込み・お問合せ／NPO高麗　東京都港区六本木3-4-16 IDAKIビル3F TEL:03-3505-8841 FAX:03-3505-8843（株式会社いだき内）
E-mail : info@npokoma.org
お振込先／特定非営利活動法人 高麗　銀行振込：三井住友銀行 新宿支店(普)3104809／ゆうちょ銀行 019店 当座0603779
入場料は全額、NPO高麗の世界平和実現へ向けての活動資金とさせて戴きます。

ホームページにて情報発信中

- NPO高麗 http://www.npokoma.org （チケットはホームページからもお申込み頂けます）
- KEIKO KOMA Selection http://www.keikokoma.com
- KEIKO KOMA Web Salon http://salon.idaki.co.jp －世界平和へ向けての道を作っていく為の語り合い－
- 高麗ギャラリーカフェ http://www.komagallerycafe.com
- 高麗屋 http://komaya.npokoma.org
- 高麗屋 仙台 http://komaya-sendai.npokoma.org　結工房 http://www.yui-koubou.net
- 高麗屋 東京 http://www.cafe-komaya.com

高麗恵子出演 ラジオ番組「Live Your Dream ～本音で生きて下さい」
FM 仙台・岩手：毎週日曜日 am7:55～am8:00 ／ FM 青森：毎週日曜日 am6:55～am7:00 ／ FM 大阪：毎週土曜日 am7:55～am8:00 にて放送中